

松花堂美術館 平成30年度 初夏展

たいぼうあん

泰房庵 コレクション

平成30年5月26日(土)ー7月8日(日)

開館時間/午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)

休館日/毎週月曜日

観覧料/一般400円・学生300円・高校生以下無料

(庭園との共通券)一般760円・学生570円
(20名様以上団体2割引)



近代中国の
フレンドリーな
花鳥・山水画を中心に



主催 八幡市立松花堂庭園・美術館(公益財団法人やわた市民文化事業団)

右:何元祥「花鳥図」
左:張子祥「鳥籠図」
円内上から:
白雲年「養鴨東坡図」
江蘇籍「柳下遊魚図」(いずれも部分)

八幡市立松花堂美術館

京都府八幡市八幡女郎花43-1
お問合せ先 TEL.075-981-0010/FAX.075-981-0009
<http://www.yawata-bunka.jp/syokado/>



松花堂美術館 平成30年度 初夏展

たいばうあん

泰房庵コレクション

近代中国のフレンドリーな花鳥・山水画を中心に

平成30年 5/26(土) - 7/8(日)



〔展覧会ポイント解説〕

平成30年6月10日(日)、24日(日)、7月1日(日)

各日午後2時より、展示室にて

*参加無料(別途観覧料が必要です)

申込不要

展覧会では、江戸時代以降、日本を訪れた中国の画人の花鳥画、山水画を中心に展示します。

花鳥画には、古くから幸福や繁栄をあらわす吉祥のモチーフが用いられてきました。

例えば、「猫」と「蝶」を組みあわせた図は「毫厘図(ぼつてつ)」と呼ばれ、長命を寿ぐ画題となります。

「菊」もまた長寿延命を願うモチーフです。

「猫」、「蝶」、「菊」をあわせれば、さらにおめでたい内容となります。

画題の意味を知ると、画に対する親しみも増します。

そして、山水画にしばしば描かれる理想郷。

海を渡り、日本を訪れた画人の目には、日本もまた理想郷として映ったのかもしれませんが。

江戸時代以降、長崎に來航した画人が描いた山水画は、何かしら親近感を感じさせます。

展示作品数、約40点。

中国、日本の陶磁器(中国の染付、奈良の赤膚焼、南山城の鹿背山焼)も併せて展示します。

展示作品はすべて個人所藏品(泰房庵コレクション)によるものです。



13



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

1. 西太后「梅図」
 2. 雍正帝「漁翁旧作七言詩」
 3. 張子祥「蓮華図」
 4. 陳從周「楊柳鳥図」
 5. 大島來典「花鳥図」
 6. 白鶴年「葡萄架涼図」
 7. 何元卿「花鳥図」
 8. 胡鉄梅「八百歲図」
 9. 王一亭「牡丹図」
 10. 江身圖「柳下遊魚図」
 11. 「陳公澤肖像」
 12. 謝元之「花果図」
 13. 鹿背山焼須写大皿
- すべて個人蔵(泰房庵コレクション)

〔松花堂庭園(国指定史跡・名勝)〕

〔開園〕午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)

〔休園〕毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

〔料金〕一般 400円

学生 300円

子ども 200円

(20名様以上団体2割引)

●ボランティアガイドによる庭園案内/無料(要予約)



〔交通のご案内〕

●京都駅から近鉄電車「丹波橋」駅より京阪電車乗り換え(大阪方面)→「八幡市」駅または「柳葉」駅から

京阪バス乗り換え→「大芝・松花堂前」下車すぐ

●R学研都市線「松井山手」駅から京阪バス乗り換え

→「大芝・松花堂前」下車すぐ

八幡市立松花堂庭園・美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1

TEL 075-981-0010

FAX 075-981-0009

http://www.yawata-bunka.jp

〔京都吉兆 松花堂店〕

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂庭園の「四つ切徳箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭栄ゆかりの地で是非ご賞味下さい。



※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで